



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2023～2024 年度 テーマ

プロバスだより

第333号

2023 年 8 月 17 日発行

編集・発行 情報委員会

楽しみながら学び合い、支え合おう

臨時総会

日 時 令和 5 年 7 月 13 日 (木) 12 : 30

場 所 八王子エルシィ

出席者 30 名

(会員総数 47 名、欠席 17 名)

1. 開 会

土屋例会委員長

只今より臨時総会を開催します。

2. 会長挨拶

持田会長

第 28 期の会長を任じられました持田です。今期皆さんの協力を頂き、務めてまいりますので宜しくお願い致します。

本日は期首の定期総会ですので、皆さんに決議して頂くたくさんの議案があります。限られた短い時間ですが、審議のほどよろしくお願いします。

前期はコロナの 3 年目となり少し収まり始めましたので、やっとゆっくりと動き出せた感があります。コロナも感染症 5 類に移行しましたが、医療体制の対応には不十分さがあるようで気は抜けないと思っております。決して油断せず我々のペースを守りながら、身の丈に合った活動をする事でクラブとして充実した成果を出して行きたいと思っております。

今期のクラブ基本方針としては「楽しみながら学び合い、支え合おう」を掲げました。高齢化した当クラブとしては、支え合いながら活動することが大変重要なことになってきております。

本日は第 1 部が定期総会、第 2 部例会という構成になっておりますので、方針の詳細の内容は、第 2 部の例会の挨拶にて説明致します。

また、後ほどの例会では新入会員として山本通陽様の紹介がございます。大変嬉しい報告であります。また、ご来賓として東京八王子南ロータリークラブ会長横山瀬如様、幹事足立直哉様が出席されご挨拶

を頂くことになっております。喜んでお迎えしたいと思います。

総会での挨拶は以上とさせていただきます。総会審議宜しくお祈りいたします。

本日の議案は第 I 号議案から VIII 号議案まであります、よろしくご審議ください。

3. 議長選任

恒例により会長が議長を務め、持田会長が議長席につき、会員総数と出席者数を確認、本総会が有効に成立したことを宣言し、議事に入った

4. 書記・議事録署名人の選出

書記に岡本宝蔵会員、議事録署名人に根本照代会員、丸山恭会員が選任された。

5. 議 事

議案は配布済なので、項目のみを掲載。

第 I 号議案「東京八王子プロバスクラブ 2023～2024 年会計監査 人事変更 (案)」

第 II 号議案「2022～2023 年度事業報告」

第 III 号議案「2022～2023 年度一般会計決算書 (案)」

第 IV 号議案「2022～2023 年度活動準備資金特別会計決算報告 (案)」

第 V 号議案「2022～2023 年度活「音楽祭」特別会計報告」

第 VI 号議案「東京八王子 2022」決算書 (案)」

第 VII 号議案「2023～2024 年度一般会計予算 (案)」

第 VIII 号議案「2023～2024 年度活動準備金特別会計予算 (案)」

以上の提出議案に対して、各担当役員の説明が行われた。続いて、第 II 号議案から第 VI 号議案について会計監査の報告があり、議長より質疑の要請があったが、特になく、全員一致で可決承認された。

引き続き第 VI 号議案及び第 VII 号議案について持田

会長より説明があり、特に質疑なく全員一致で可決承認された。

6. 議長解任

第 333 回例会

1. 開 会

土屋例会委員長

第 333 回例会を開催します。本日の出席者数は 30 名、出席率は 63% です。

2. 会長挨拶

持田会長

今年度のクラブ基本方針は「楽しみながら学び合い、支え合おう」を掲げました。

- 1) 楽しみ・学べる例会
- 2) 各会員のクラブ同好会や 諸活動への積極的所属・参加の推進
- 3) 地域への奉仕活動の推進

(身の丈に合わせた活動・収支バランス・会員の活動レベル考慮)

<例会を楽しく>

- 1) 会員のひと言 (会員の発言機会を増す)
- 2) 卓話の活用
 - ・私の「とっておきの話」。自慢話。趣味の話。特異な経験談など。
 - ・クラブ同好会の近況報告を織り込む。

<重点事業>

- 1) 「音楽祭 (合唱祭・仮称)」の開催
2024 年 3 月
 - 2) 全日本プロバス協議会活動への支援連携
- #### <一般事業>
- 1) 情報管理の見直し、規定・ルール of 更新
 - 2) 全員参加の協力体制づくり (委員会の横断活用・ひとり数役)
 - 3) 全員の同好会・諸活動への会員の参加度の向上
 - 4) 新入会員の増員活動・相互交流活動

最後に、やはり、組織は人なりです。人は石垣、人は城と言われますが、当クラブも人が最も大切です。人の多様性を十分鑑みながら、かつ適材適所も加味して、現有の人材で最大限の効果を発揮できるように工夫していきたいと思ひます。

3. 来賓挨拶

東京八王子ロータリークラブ会長

横山瀬如 様

横山会長より東京八王子ロータリークラブ内での活動内容について詳しくご説明いただきました。



4. ハッピーコイン披露

塚本副会長からハッピーコイン 18 件の披露がありました。(4~5 ページに掲載)

5. 新入会員紹介

杉山会員より新入会員 山本通陽様の紹介がありました。

本日の例会からお仲間に加わって頂く

山本通陽様は、社会活動家として既に数々の要職を持っておられますが、ご事業の分野が一区切りついたことを機会に入会して頂きました。

皆さま方末永くどうぞよろしくお願い致します。

引き続き、山本通陽会員より入会にあたっての思いをお話頂きました。



6. パースデーカード贈呈

今月のパースデーカードを受け取られるのは浅川会員の卒寿、濱野会員、高取会員、岩島会員のお三方は米寿とそれぞれ記念すべき時の授賞でした。



(左から浅川会員、濱野会員、高取会員、岩島会員と持田会長)

7. 幹事報告

持田会長代行

配布しました資料の人事メンバー構成表をご確認願ひます。これが 7 月 13 日付けの最新版です。

また、年間概略スケジュール表（前半・後半）がありますので、およその年間計画をご確認願います。最後に、人事発令の最新版 7 月 13 日付です。今年度はこの体制で活動致します。

8. 各委員会の新年度活動方針

(1) 例会委員会

土屋委員長

会長の方針に基づき、次の方針を立てました。

- 1) 参加した会員との会話を通じて親睦を図る。
- 2) バースデーカード贈呈の際にどのような趣味をもち、どのような生活を過されているか、また、どのような人生観をお持ちかなども聞ける方を講じてゆく。

創意工夫が必要だと痛感していますが、皆様の協力をお願いします。

(2) 情報委員会

内山副委員長

会長の新年度の方針を受け、情報委員会としては、より親しみやすい情報誌の発行と情報発信の強化という目標を掲げました。具体的にはプロバスだよりの内容の更なる充実化に努めます。

一方、情報発信についてはホームページへの情報の多様化を図るため、再検討も含めて今後取り組んでいきたいと考えております。

(3) 会員・研修委員会

池田委員長

委員会の方針

- 1) 会員数の維持と増強に努める。
- 2) 会員の交流と親睦のために、楽しく学べる企画を考える

卓話については会員を中心として、自由なテーマで語って貰う。自己紹介を兼ねて新入会員優先とする。

研修については、次の項目を優先して進めたい。

時期については随時検討する。

- ・八王子老年研究会（座長 杉山）
- ・八王子市館クリーンセンターの見学
- ・宇宙と縄文土器
宇宙航空研究開発機構と相模原市博物館
- ・同好会活動の紹介 活動報告と勧誘

(4) 地域奉仕委員会

馬場委員長

会長の運営方針の大項目＝「楽しみながら学び合

い、支え合おう」を考慮しながら地域奉仕委員会の活動を進めて行く。

地域奉仕委員会の活動方針

1) 28 期の地域奉仕活動は“小・中学校の合唱活動の応援”とする。

2) 活動の重点項目は次の通り

- ・八王子市教育委員会と連携して進める
- ・地域奉仕活動は、クラブ全体の活動であるとの認識をクラブ全員で共有し、活動に際してはクラブ全全体の協力を得ながら推進・実行する。

・「八王子市 小・中学校 合唱応援まつり」の活動理念を明確化し共有する。

第一には、「宇宙の学校」プロジェクトに準じ、次代を担う小学生・中学生を対象とする。第二には、25 周年事業や 27 期の「音楽祭」の経験を踏まえ、音楽分野、中でも八王子市では相対的に弱体である合唱分野に的を絞って応援し育んで行くことを目指す。継続することで八王子市に合唱文化が育ち根付くことを期待する。参加し易さを狙いとし「合唱応援まつり」とする。「合唱応援まつり」は、小・中学校へ発表の場を提供し、合唱経験・舞台経験を積むこと、思い出作りとすることを狙いとする。また評価や順位付けは行わない。

・12 月臨時総会に提案する予算案の策定と同時に、「合唱応援まつり」についてクラブ全体の分担案を提案し、本番までの約 3 ヶ月間クラブ全体での取り組みに拡大し推進する。

3) 応募校が最初の募集（市立 小・中学校向け）で未達の場合の対処法（案）

・教育委員会と相談しながら、第一ステップでは、NHK 合唱コンクールへの応募などを参考にして、募集を市内私立小・中学校に拡大する。

(5) 宇宙の学校

下山リーダー

令和 5 年度の「宇宙の学校」計画がスタートし、1 回目のスクーリングが行われた。令和 5 年度の方針は 4 年度が安全第 1 であり、手堅く「宇宙の学校」の存在感の確保にあったが、5 年度は実施内容の充実を図ることにしたい。

「宇宙の学校」は子供がターゲットであることに変わりはないが、宇宙を視座に「命の大切さ」を学ぶ、社会のニーズを広く、聞く事が必要であろう。

令和 5 年度でこれらの事を絡めて行けば自ずと活動方針が定まると考える。

方針

- 1) 年度をまたいで安定した「宇宙の学校」事業を運営できる体制を確保する。
- 2) 広く「宇宙の学校」のあるべき姿の理想像に近づこう努力し、研究も進めてゆく。
- 3) 年度レポートを活用する。

(6) 交流担当

一瀬担当理事

本年度の基本方針は3項目掲げました。

- 1) 全日本プロバス協議会活動の再活性化にチャレンジすることです。機会をとらえて全国各クラブの現場に顔出しする。「ひろば」「ニュース」「ホームページ」などの媒体を活用する中で少しでも前進したいと思います。
- 2) は次期執行部の旭川にスムーズにバトンタッチすることです。任期は早残すところ1年となりました。来年の五所川原の総会・大会を成功させるべくサポートするとともに引継ぎを万全に行っています。
- 3) 友好クラブとの交流をさらに進めたいと思います。プロバスだよりのやり取りやイベントへの相互参加など企画していきます。本年も会員の皆様の絶大なご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

9. 全日本プロバス協議会

一瀬幹事長

先月も報告しました来年の五所川原への参加の件、当クラブとしては飯田会員を責任者とし、希望者を募っておりますが、飯田会員が体調不良で休まれており進捗状況は詳しく把握しておりません。状況を見ながら対応考えます。

6月26日に全日本プロバス協議会の常任理事会を八王子で(京王プラザ)開催しました。来期の会長クラブの選任及び五所川原での総会・大会のスケジュール検討など予定通りの案件が承認されました。

10. プロバス賛歌

起立、斉唱

11. 閉会

塚本副会長

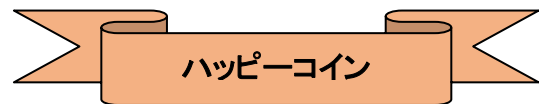
第28期定期総会が無事終了し、本日より28期の

例会が始まりました。

持田会長を中心に、会長の思い「楽しみながら学びあい、支え合おう」に少しでも近づけるよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

本日は東京八王子南ロータリークラブの横山会長のご挨拶がありましたが、相互の理解と協力の遂行を一層すすめることを確認しました。お一人の新会員をお迎えすることもできました。早く会になじめるよう温かく言葉かけをしましょう。

各委員会活動報告への皆さんお一人お一人の協力こそプロバスの社会での存在感が認識されていくのではないのでしょうか。諸活動での皆さんのご理解、ご協力、ご支援を一丸となって進められるよう願っています。私ごとですが、至らぬこと多々あると思いますが、役目を果たす努力をして参ります、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



◆毎年7月7日は私の誕生日。今年は88歳(米寿)を迎え、非常の幸せ。皆と共に喜びたい。Happy Birthday
濱野 幸雄

◆本日より新たなお仲間、山本通陽氏が入会されました。皆様どうぞ宜しくお願い致します。
杉山 友一

◆持田会長年度スタートおめでとうございます。会員一同ハッピーな一年が過ごせますように。
杉山 友一

◆八王子が日本一の気温の中の持田年度の出発になりました。会員の皆様が健康で活動を進められる事を祈念致します。
立川富美代

◆今年度副幹事を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。鈴虫を飼い始めました。鳴声に癒されています。
有泉 裕子

◆本日は新入会員として山本通陽さまをお迎えすることができ心〜歓迎したいと思います。早くクラブに慣れ、当クラブでご活躍されますことを祈念します。新しい会員が増えましてHappyです！
持田 律三

◆いよいよ代28期に入りました。今年度は新たに宜しくお願いいたします。

寄稿

池田会長大変お疲れ様でした。

クラブとして 28 歳は成熟期です。ただ会員の多くは完熟期となって来ておりますので、それなりに身の丈に合った活動を展開したいと思えます。健康があつてこそこのクラブ活動です。

健康ファーストでクラブを Happy にしよう！

持田 律三

◆持田丸の一年の無事航海を祈って！！ガンバレ。

野口 浩平

◆持田丸の出帆を祝し、順風満帆であることを祈ります。

岩島 寛

◆孫が警視庁巡査部長昇任試験初挑戦し、合格することが出来ました。幹部への道を歩き始めました。

井上 克

◆プロバスクラブの皆様、20 年間ありがとうございました。楽しい第二の人生を過ごすことが出来ました。

浅川 文夫

◆「びおら」での自前印刷で全日本プロバス「協議会ニュース」第 9 号が発刊できました。職員の皆様にもお手伝いいただきました。有り難うございました。

一瀬 明

◆28 期持田丸の出航、乗り合わせた皆が力を合わせていきましょう。

一瀬 明

◆新年度の始まりと山本さんの入会を祝って。

河西 成幸

◆本年度、28 期持田会長ほか新役員の方々どうぞよろしくお願ひします。

山口 三郎

◆第 28 期持田会長年度がスタートしました。地域奉仕のテーマは「合唱応援まつり」です。

全委員会あげてのご支援をよろしくお願ひします。

馬場 征彦

◆今月 10 日に 88 歳になりました。元気に生活できることに感謝しています。

高取 和郎

◆八王子学園のバスケット部が東京で優勝し、東京都代表として全国大会（インターハイ）に出場します。

他に陸上競技部が走幅跳等にて 10 名が、水泳部も東京で総合一位となり、多くの種目でインターハイに出場します。柔道は関東大会に、野球の夏の大会が始まっています。応援よろしくお願ひします。

塚本 吉紀

27期をふり返って

池田 ときえ

27 期はコロナとにらみ合いのスタート、8 月例会はやむなくお休みしましたが、以降は用心しながらも全行事を実行できました。担当された皆さまの協力に感謝します。



今年度一番の事業、全日本プロバス協議会第 10 回総会・東京八王子大会は好評のうちに終わりました。全国のプロビアンが一堂に会する機会、実り多い出会いがありました。2 年半に亘ってご苦勞を重ねた実行委員会の皆さまに感謝です。次回は 2024 年 8 月五所川原大会、ねぶた祭りの最中です。私達も大勢で参加して再会を楽しみましょう。同時に協議会会長クラブとして田中会長、一瀬幹事長の活動が始まりました。

年間事業では、会員・研修委員会の「八王子老年研究会」による認知症の学習会が注目を浴びました。高齢化した我々世代にとって切実な課題です。

平川病院長による認知症の定義、市高齢者福祉課の支援状況、家族の会活動報告、グループホームの現況、埼玉県行政支援の例、家族介護の視点から、と毎回手ごたえのあるお話しで、偏見を改め認識を新たにすることばかりでした。単なる病気ではない、誰にでも訪れる老化現象、つまり自分事です。この研究会は 28 期も引き続き行われますので心して拝聴したいと思います。時機を得たよき企画をありがとうございます。

「教育を語る会」もユニークな同好会になりました。子供たちの教育環境を守りたい、落ちこぼれない学校を、という発想から始まりましたが、教育の裾野は広大で、話題は大きく広がります。実際に地元の小学校で放課後指導員をしている深谷会員の現場体験は興味深いものがあります。これからの若い世代が育つ世界への危惧と、のびのび育ててほしいと願う老婆心を抱えながら、あえて結論を求めず自由な発言を交わしています。自分の思い、考えを語る貴重な場と思えますので、どうぞご参加を。生涯学習サロンに代わる事業として行われた「小

中学校音楽祭、ご苦労も多かったと聞きますが、皆さんに楽しい時間を提供してくださいました。次回からは合唱に特化していくとのこと。声は人が持つ魅力的な楽器です。八王子の合唱人口が増えることも期待して応援していきましょう。

「宇宙の学校」もほぼ従来の活動に戻り、会場いっばいに子供たちの歓声が響いていました。

指導にあたる八王子学園、東京高専、創価大の学生参加者も真剣に取り組んでいます。教えることで学ぶ、よい体験になるでしょう。

新しいお仲間が増えました！昨年度から5名の方が入会してくださいました。

お若い知見と貴重な経験で、プロバスクラブに新しい風を吹き込んでくださるものと期待しています。声を掛け合い、行動を共にしていきましょう。28期も助け合いの精神で、楽しく活動されることと思います。会員一同、心を一つにして協力していきたいと思えます。

同行会活動報告

第27期最後の春の八王子プロバスゴルフコンペを実施しました。残念ながら、2組が1組に減るという寂しい結果になりましたが、1組で元気に6月23日GMG八王子にて実施開催しました。

さすがにコンペ形式をとるには憚り、「親睦ゴルフ会」に致しました。天候に恵まれ、チップインバーディや220ヤードのドライバーショットなど優れた技と力の競演となりました。春・秋開催しておりますので、是非皆さんの参加をお待ちしております。



左から、持田、一瀬、塚本、田中 各会員

乞巧奠（キッコウデン）

旧暦七月七日は新暦では八月二十二日になります。七夕は、六世紀頃中国の古書にある「織姫・彦星」伝説により広く知られる年中行事です。これは四世紀（飛鳥時代以前）には日本に存在していた「織女・牽牛伝説」と裁縫技芸向上を願って七月七日に七

本の針に糸を通すという中国の「乞巧奠」の風習が繊維製品のつながりで融合して生まれた行事と言われています。乞巧奠という言葉があること初めて知りました。

（雅）

俳句同好会便り

私の一句〈七月の句会から〉

河合 和郎

今年も猛暑の夏とか。集中豪雨でも各地に大きな被害が発生した。一日も早い復興を願って止まない。願わくは穏やかな季節であって欲しいと願いつつ、今月も熱い熱い句会であった。

ホーホーと闇を深めて青葉鼻 矢島 一雄

鳴き声で闇の深さを表現。深夜に啼く鼻の声は不気味でもある。私の生家の近くの景。懐かしい。

音立てて走り抜けたり大夕立 池田ときえ

「音」の兼題句。夕立が雷鳴と滝のような雨音を残して通り過ぎた。水溜りと涼しさを残して。

箱庭に列車走らせパパ歓声 田中 信昭

子供より父親の方が夢中になっている。そんな様子を「パパ歓声」と表現。汽笛も聞こえてくる。

梔子の花の香りや垣根越し 下山 邦夫

梔子の花の香りがお隣の庭から垣根越しに流れてくる。ちょうど心地よい香りとなって。

心まで身軽となりて薄暑の日 飯田富美子

季節の変わり目の微妙な心の動きを表現。まさに「軽暖」の季語そのものの一句でもある。

四万十のトロッコ列車風涼し 馬場 征彦

あの四万十川にトロッコ列車が走るようになった。列車を吹き抜ける風は正に涼風そのもの。

潔よし一日に散れる沙羅の花 野口 浩平

沙羅の花は椿に似た白い花。一日花で朝に開き夕方には散ってしまう。作者はそこに潔さを見た。

綿飴にからめ取りたや雲の峰 河合 和郎

夏空に大きな雲が浮かんでいる。あれが綿飴だったら……と子供心に。メルヘンの世界に遊ぶ。

編集後記

新年度活動方針、寄稿文、同好会活動報告など多くの記事があり、見づらい部分もありましようがご容赦ください。情報・内山

